

十號より四十五迄六部僕が出すから太田三郎氏著『スケッチ畫法』と交換を乞ふ、次に繪ハガキ交換希望（長野縣下高井郡往郷村三五山田直一郎）■『女性と趣味』定價半額にて譲受けたし着本次第送金、又は吉田博氏『寫生旅行』『光風』四ノ三と交換を望む（嶋井浪花上五、天井）■『孤雁挿繪集』『水彩畫譜』『みづゑ』御入用の方に大廉價譲與す（下關市東南部町藤井直二郎）■日本橋MGNMT様御返葉を乞ふ、次に皆様方よ不相變肉筆繪葉書を御めぐみ下さい（米澤市免許町下一三〇八佐藤周子）■小形の油繪箱（文房堂製）安價に譲る直接照會を乞ふ（鳥取市茶町森本利三）■『方寸』本年度分肉筆水彩繪葉書御送りの方に呈す、但し粗なるものには返送せず、一葉一冊のこと、引續き肉筆水彩繪葉書交換を乞ふ（尾道市久保町山路邦太郎）■『みづゑ』十一號より三十號迄及び六號十二錢内外にて至急譲りたし（横濱市南太田町二二三二白井不朽生）■業務多忙の爲め新に購入せし十六切スケッチ箱（二圓三十錢の品）不

用につき廉價に譲りたし、頗る新しきものなり（札幌北四條西十二丁目小島義男）■ワットマン十六切スケッチ箱、筆洗、水筒、畫架、三脚、畫囊、油繪スケッチ箱、全繪具、筆、安價に譲る（愛媛縣宇摩郡寒川村妻島律太）■相田寅彦氏の「森」が文部省美術展覽會に褒狀を受れたと聞き、その會友たる自分は何だか喜しく、感じた『みづゑ』五十六號の挿繪を一寸、「町のスケッチ」は外國の市街かと思つたラスキン先生の繪には驚いた、高い空廣い海小生等には何とも言へない、大下師の海岸を原色版にせられたらと思つた、鎌倉スケッチは面白い、時折こんなのを載せていたゞきたい（神戸、津川）■『みづゑ』第一より第五十迄（折目なし）譲りたしといふ人あり、望の方は買受價格を記し往復ハガキを以て本會へ照會されたし（春鳥會）

近 事

△日本水彩畫會研究所有志數名は、十月三十日より秋期寫生旅行を武州御嶽山上

に試み、數日滞在多數の製作を得て歸京したり。

△太平洋畫會研究所に於ても、十一月二十一日より二日間相模川上流に向つて寫生旅行をなせり。

紹 介

◎日曜新聞 近來個人の隆事をあげき、又は些々たる事實を誇張して好奇心を挑發する惡徳週刊雜誌多き中に、これはまた、床しくも家庭、社交、婦人、兒童、科學、技術、園藝、探檢、寫眞、文藝、歌舞、音曲、發明、流行等の多方面にわたって、趣味と實益を讀者に頒たんとする態度は嬉しとも嬉し。發行所は東京市京橋區南鍋町二丁目日曜新聞社にして、一部の定價金四錢、十一月二十八日その第六號を發行せり。

◎山岳 四年第三號 例によつて美はしき寫眞版を卷頭に挿み、記事には野尻氏の白峰北岳登山記を始めとして何れも面白し（一部三十五錢、東京神田區表神保町東京堂發賣）